

外部システム連携機能

Testablishでは、Testablishサーバに対して外部システムがアクセスするための API を用意しています。

1. [Testablish API](#)
2. [サンプル](#)

1. Testablish API

外部システムがアクセスするための API は以下のとおりです。

(1) テストコード全パターン (ZIP) の取得	
URL	http://<host-ip-port>/api/ext-tool/<プロジェクトID>/download/testcase/<テストID>
METHOD	GET

(2) テストスイートコード (ZIP) の取得	
URL	http://<host-ip-port>/api/ext-tool/<プロジェクトID>/download/testsuite/<テストID>
METHOD	GET

(3) バックアップファイル (ZIP) の取得	
URL	http://<host-ip-port>/api/ext-tool/<プロジェクトID>/backup
METHOD	GET

認証については、**HTTP request header** で以下を指定してください。

KEY	authorization
VALUE	<プロジェクトの認証トークン>

<プロジェクトID>、<プロジェクトの認証トークン>については、Testablish 「設定」メニューで該当のプロジェクト設定で確認することができます。

<テストID>については、Testablishで 該当のテストまたはテストスイートを表示した際のブラウザのURLの末尾で確認することができます。

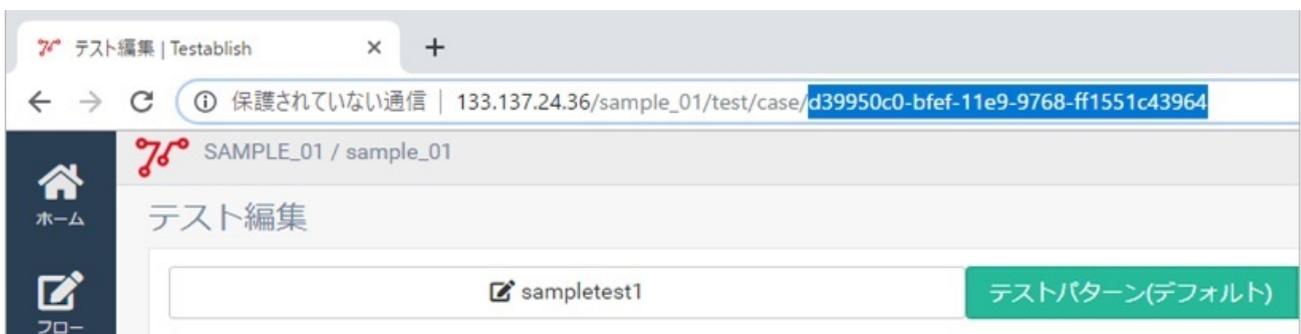


Fig.1-1 テストID

2. サンプル

コマンドラインからの利用

curlコマンドとはサーバから、もしくはサーバへデータ転送を行うコマンドです。

以下は、windows のコマンドプロンプトから、この curl コマンドで (1)テストコード全パターン (ZIP) の取得 APIを使ったサンプルです。

下記の書式でコマンドが実行できます。

```
curl [options] [URL]
```

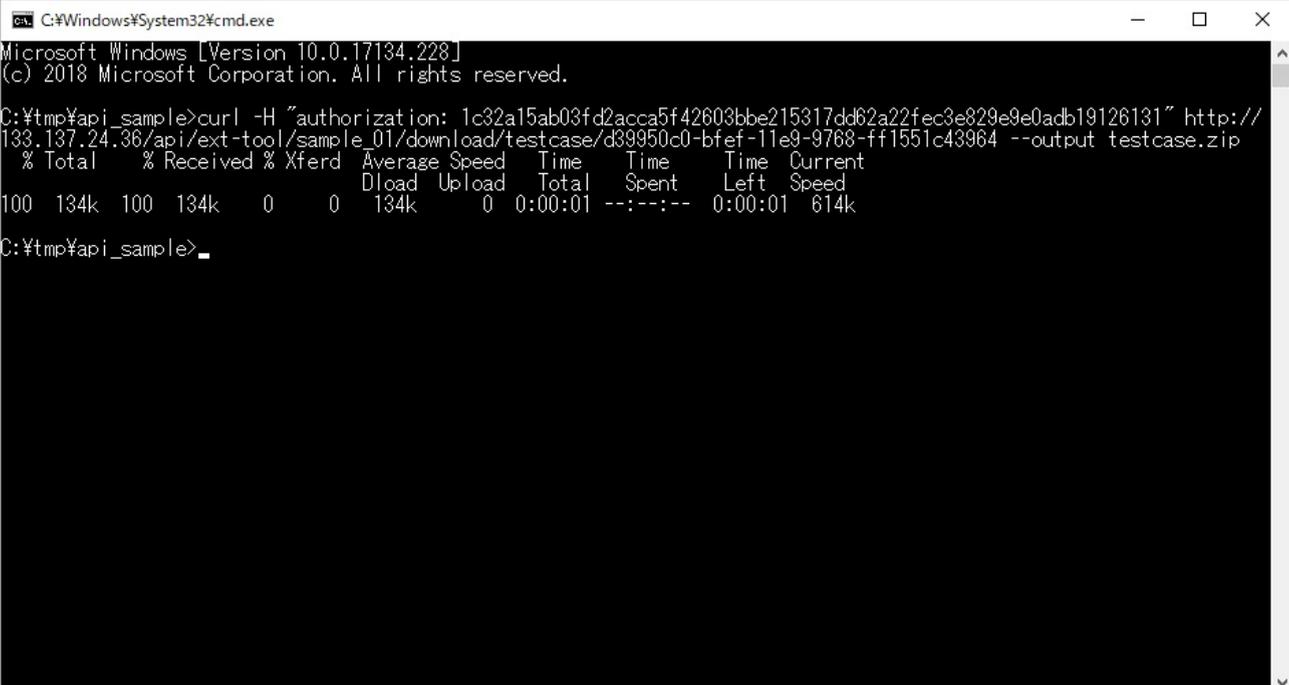
このサンプルでは、オプションで認証の request header と出力ファイル名を指定しています。

```
%curl -H "authorization: <プロジェクトの認証トークン>" http://<host-ip-port>/api/ext-tool/<プロジェクトID>/download/testcase/<テストID> --output <ファイル名>.zip
```

実際の実行例です。

太字の箇所はダウンロードするプロジェクトの固有の値で置き換えています。

```
%curl -H "authorization:
1c32a15ab03fd2acca5f42603bbe215317dd62a22fec3e829e9e0adb19126131"
http://133.137.24.36/api/ext-tool/sample_01/download/testcase/d39950c0-bfef-11e9-9768-ff1551c43964 --output testcase.zip
```



```
C:\Windows\System32\cmd.exe
Microsoft Windows [Version 10.0.17134.228]
(c) 2018 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\tmp\api_sample>curl -H "authorization: 1c32a15ab03fd2acca5f42603bbe215317dd62a22fec3e829e9e0adb19126131" http://
133.137.24.36/api/ext-tool/sample_01/download/testcase/d39950c0-bfef-11e9-9768-ff1551c43964 --output testcase.zip
 % Total    % Received % Xferd  Average Speed   Time    Time     Time  Current
           Dload  Upload   Total   Spent    Left   Speed
 100 134k    100 134k    0     0  134k    0  0:00:01 --:--:--  0:00:01 614k
C:\tmp\api_sample>_
```

Fig.2-1 コマンドラインからの利用

curl コマンドの引数やオプションなどの詳細はコマンドのヘルプでご確認ください。

```
%curl --help
```

ツールからの利用

PostmanはWeb APIのテストクライアントサービスのひとつです。

Postmanを使うと下の画像のようにAPIのURLを設定して、そこに入るパラメーターを設定するだけで簡単にGETやPOSTのテストができます。

以下は、このpostman を使った(1)テストコード全パターン (ZIP) の取得 APIを使ったサンプルです。

- METHOD を GET にし、APIのURLを設定します。
- Headers タブで 認証のための KEY と VALUE を設定します。
- Send ボタンの下矢印をクリックして、"Send & Download" を選択します。
表示される「名前を付けて保存」ダイアログで、ファイル名(.zip)を設定します。

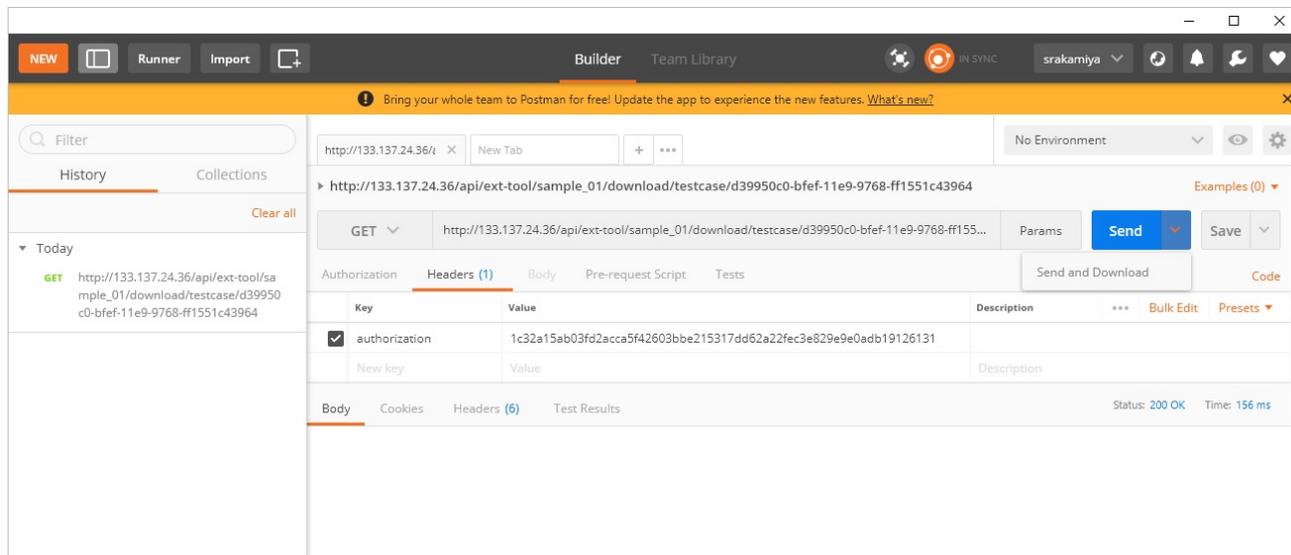


Fig.2-2 ツールからの利用

[外部システム連携機能 目次](#) に戻る

対応Ver : v1.2.1 ~

作成日 : 2019-09-05

更新日 : 2019-09-05